



英知
誠実
健康

学校だより

若鷹

尾張旭市立旭中学校

令和5年度 7月号

夏休みに向けて

校長 浅野 謙一

4月の入学、進級から約4ヶ月が過ぎました。1学期には、日々の授業や委員会活動、修学旅行や野外活動などの行事、部活動など様々な場面で活躍する皆さんの姿を見ることができました。自分たちでも、この1学期の生活を振り返ってみてください。どんなことでも、ほんの少しでも以前より成長できたと思えることはありましたか。

さて、6月24日（土）から始まった中学校総合体育大会の瀬戸・尾張旭地区大会ですが、7月15日（土）で全種目の日程が終了しました。努力が報われず予選で惜敗した部活や最後まで頑張り抜いて優勝の栄冠を勝ち取った部活など結果は様々でしたが、どの部活においても感謝の気持ちを忘れず、マナーやルールを大切にして、フェアプレーができていました。そんな大会の中で、7月15日（土）の野球部の準決勝での出来事を紹介します。対戦相手は同じ市内の東中学校です。実力伯仲で一進一退の攻防が続く中、バッターの打ったファールが旭中のキャッチャーの首あたりを直撃しました。その影響でキャッチャーの生徒は、気分が悪くなり、プレーを続けることができず、ベンチに運ばれてきました。その様子を見て、大会関係者の方や看護師の方がすぐにベンチに駆け寄り、迅速に手当てをしてくださいました。そして、その方々だけではなく、旭中の保護者の方や相手ベンチの監督さんたちも手に水分や体を冷やす物を持って、続々と駆け寄ってくださいました。幸い大事には至らず、プレーに戻ることができそうでした。そして、キャッチャーの生徒が、治療を終えてグラウンドに戻る時には、旭中のベンチや応援席だけではなく、相手の東中のベンチや応援席も合わせた球場全体から温かい拍手が沸き起こりました。試合はその後、旭中が勝利しましたが、旭中も東中もどちらのチームも礼儀正しく、清々しい、とてもすばらしい試合でした。

さて、新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行されましたが、まだまだ感染拡大が心配される状況で、依然として油断ができない状況が続いています。学校では引き続き警戒感を強め、教育活動を継続してまいります。夏休み中もお子様の健康と、安全・安心な学校教育の保持のためにご協力いただきますようお願いいたします。また、新型コロナウイルス感染症拡大防止とともに、熱中症についても注意しなければならない時期です。夏休み中における部活動の熱中症予防については、子どもたちの安全に十分配慮しながら、進めてまいります。ご家庭におかれましても、熱中症予防にも十分ご留意いただきますようお願いいたします。

中学校総合体育大会総体(中総体)



中総体瀬戸旭大会結果

野球	優勝(愛日大会出場)	ソフトボール	優勝(愛日大会出場)
サッカー	一回戦惜敗	卓球(男子)	(団体) 予選惜敗 (個人) 惜敗
バスケット(男子)	一回戦惜敗	卓球(女子)	(団体) 3位 (個人) 惜敗
バスケット(女子)	一回戦惜敗	剣道(男子)	(団体) 優勝 (個人) ベスト8
バレー(男子)	リーグ戦惜敗	剣道(女子)	(団体) 2位 (個人) ベスト8
バレー(女子)	3位	陸上	1年男子 100m 1位(県大会出場) 3年男子 800m 2位(県大会出場) 3年男子 1500m 1位(県大会出場)
ソフトテニス(男子)	(団体) 決勝リーグ 一回戦惜敗 (個人) 3回戦惜敗	水泳	1年男子 200m400m自由形(県大会出場) 2年女子 100m200m平泳ぎ(県大会出場) 3年女子 100m200mバタフライ(県大会出場)
ソフトテニス(女子)	(団体) 4位 (個人) 5位(愛日大会出場)	柔道(女子)	(個人)(愛日大会出場)

中総体は、野球部・ソフトボール部・剣道部(男女団体)・ソフトテニス部(女子個人)・柔道(女子個人)が愛日大会、陸上部(個人)・水泳(個人)が県大会出場を決めました。練習の成果を發揮し、上位大会への出場を決めた部活のみなさん、おめでとうございます。さらに上を目指して、もうひと踏ん張りがんばってください。残念ながら敗退してしまった部活のみなさんも、お疲れさまでした。今大会で得た様々な経験を次の新たな目標に向けて生かしていきましょう。また、応援やサポートをしたみなさんも、お疲れさまでした。応援しながら学んだことをこれからにつなげていきましょう。